

# 西東京の教育



2020.5.15 / No.89

## topics

- ① 令和2年度 教育予算・主要事業の概要 ほか
- ② プロコーチ派遣教室 ほか
- ③ 令和元年度西東京市教育委員会表彰
- ④ 就学相談等のご案内 ほか

## 児童・生徒の皆さん、保護者の皆さまへ

教育委員会では、感染拡大の防止を徹底するとともに、子どもたちの健康や安全を守るため、市立小・中学校の臨時休業を5月31日(日)まで延長することといたしました。

児童・生徒の皆さんにとっては、授業や学校行事、部活動などを通じて友だちや先生方との楽しい学校生活を共にできず、残念に思っていることでしょう。皆さんが外出を控えることは、新型コロナウイルスに感染しないこと、大切な人に感染させないことにつながっています。もうしばらくの間、辛抱とご協力をお願いします。不安なことや心配なことがありましたら、学校や教育委員会に連絡してください。

保護者の皆さまには、臨時休業の延長により、子どもたちの生活面、学習面など多くの心労をお掛けしております。引き続き、感染拡大の防止対策や、規則正しい生活を送るための家庭学習や読書、適度な運動などについてご指導いただくとともに、子どもたちへのあたたかい見守りをお願いいたします。

教育委員会としましても、各学校における家庭学習支援の充実を図るとともに、学校の再開に向けて生活リズムや学校生活への順応のための取組などを行い、教育活動が着実に進められるよう全力を尽くしてまいります。

一日も早く新型コロナウイルス感染症の拡大を終息させ、子どもたちの明るい歓声が響く学校生活を回復させていくために、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

教育長 木村 俊二

### 学校臨時休業中に活用できるコンテンツを紹介します 西東京市子ども元気かプロジェクト

学校休業中の子どもたちの学ぶ意欲の持続、生活リズムを整えることを目的として、動画を作成しています。

QRコードからアクセスまたは「西東京市子ども元気かプロジェクト」で



#### 学習用ウェブサイト

※ここで紹介しているウェブサイトは予告なく掲載が終了される場合があります。

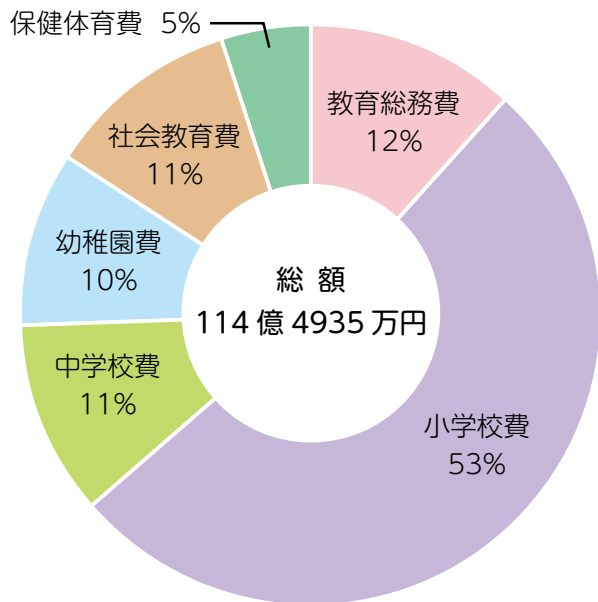
- 経済産業省 「#学びを止めない未来の教室」  
新しい教育を可能にする技術が無償で提供しているウェブサイトです。
- 文部科学省 「子供の学び応援サイト」  
学習支援コンテンツについてのリンク集です。
- 東京都教育委員会 「東京ベーシックドリル」  
小学1年生から中学1年生まで漢字や計算等が学べます。
- スマートフォン用アプリ「VR下野谷ミュージアム」  
縄文時代のムラの中にあるようなVR映像や、当時のくらしの解説・クイズなど下野谷遺跡や縄文時代について楽しみながら知ることができます。



## 令和2年度 教育予算・主要事業の概要

### 教育予算の概要

※各項目の%及び金額は原則として表示単位未満を四捨五入していますので、合計と一致しない場合があります。



項目・金額	内容
教育総務費 13億5510万円	・情報教育推進事業 ・いじめ問題対策事業 など
小学校費 60億1599万円	・校舎等維持管理 ・給食事業 など
中学校費 12億2806万円	・登下校区域安全対策事業 ・給食事業 など
幼稚園費 11億2041万円	・私立幼稚園保護者補助金 など
社会教育費 12億1381万円	・公民館・図書館の運営 ・文化財保護事業 など
保健体育費 5億1598万円	・学校開放運営管理 ・体育施設の運営 など

### 主な事業の概要

#### 1 「小中一貫教育の推進」

今年度から西東京市独自の小中一貫教育を開始します。算数・数学・英語の教科で小中一貫カリキュラムを導入するほか、中学校一斉体験会や地域清掃デー、出前授業等の取組を通して、小学6年生が中学校に進学する際の勉強や新しい環境に対する不安の軽減を図ります。

#### 2 「マルチメディアデイジーの活用」

学校と連携し、障害により学習・読書が困難な児童・生徒を対象に、図書館が所蔵するマルチメディアデイジー\*資料を提供し、授業や家庭の中で使用できるようにします。

※マルチメディアデイジー  
通常の書籍を読むことが困難な様々な人が利用できるデジタル図書のこと。

#### 3 「スクールロイヤー制度の試行的導入」

学校現場における多様な事案への対応について、法律の専門家である弁護士(スクールロイヤー)が、学校や教育委員会に対して、第三者的な立場から法的アドバイスをを行います。

この制度の試行的導入により、教育委員会と学校が連携し、適切な対応を図ります。

#### 4 「<sup>したのや</sup>下野谷遺跡の保存・活用」

遺跡の価値と魅力を広く伝えるとともに、地域資源として生かしていくための史跡整備工事を行います。

今年度は、エントランスゾーンや体験ゾーンの整備工事を行うとともに、復元ゾーンの整備(来年度予定)に係る実施設計を行います。